第76期 中間報告書 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)



株式会社サンユウ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループにおける第76期第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から2021年9月30日まで) の事業の概況及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの影響は依然として残るもののワクチン接種が本格的に開始され、また、製造業を中心に一部で回復傾向が見られるなど明るい兆しもありました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界の主要需要家である自動 車業界では、半導体不足による弱含みがあったものの概ね堅調に推移い たしました。また、建産機業界におきましても回復傾向が続きました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の拡大 に努めるとともに、材料価格の値上げに伴う販売価格への転嫁及び固定 費を始めとしたコスト削減に注力し、収益の確保に取り組みました。

これらの結果、販売数量は57千トン (前年同四半期比34.0%増)、売上高は10,064百万円 (前年同四半期比37.9%増) となり、損益につきましては、売上高の増加とトン当たり製造経費の減少に伴い、営業利益は474百万円 (前年同四半期は営業損失171百万円)、経常利益は523百万円 (前年同四半期は経常損失66百万円) となり、親会社株主に帰属する四半期納利益は299百万円 (前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期 純損失134百万円) となりました。

一方、下半期におきましては、鉄鉱石及び石炭の鉄鋼原材料価格の高騰を背景とした材料価格の上昇に加えて、東南アジアでの新型コロナウイルスの感染拡大に起因した半導体不足及び部品調達の遅延による自動車向け販売数量の減少が懸念されます。

当社グループにおきましては、全社一丸となって課題に取り組む所存でありますが、2022年3月期の業績予想につきましては、売上高は21,000百万円(前期比22.5%増)、損益につきましては、経常利益は730百万円(前期比106.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は400百万円(前期比254.8%増)を見込んでおります。

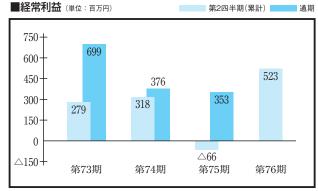
株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、 今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長 西野淳二

連結業績の推移







(注)△は損失を表しております。

事業の内容

●生産

大阪府内の2工場及び熊本県 の九州工場を軸に、品質・ 数量ともに安定した効率的 生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や仕 様に適合する優れた品質の製品を 安定的・効率的に生産し、迅速・ 確実にお届けするために、大阪府 内の枚方市と八尾市及び能本県 菊池市に消費地密着型のみがき 棒鋼(普通鋼・構造用鋼、合金鋼、 快削鋼、ステンレス鋼)と冷間圧 造用鋼線(普通鋼・構造用鋼、 合金鋼)の工場を展開しています。 枚方市にある本社工場では、みが き棒鋼の多品種生産を行うととも に精密加工により、高付加価値製 品を産み出しています。八尾工場 及び九州工場では、みがき棒鋼を 生産するとともに自動酸洗設備及 び熱処理炉を最大限に活用した 冷間圧造用鋼線の生産により、自 動車関連需要に対応しています。 高炉・電炉メーカーの厳しい品質 管理のもとで生産された優れた素 材を使用することにより、良質の みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線 を生産し多くの産業界に提供して います。

●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でより よい品質の製品を開発して おり、厳しい品質管理体制 は需要家にも定評がありま す。

技術革新の著しい進展のなかで、 製品に対する品質要求はますます 高まっています。当社グループで は、高品質の製品を生産するため に、その生命線ともいうべき引抜 ダイスの寸法精度を厳密に管理す るとともに製品の寸法精度や形状 精度を向上させ、表面きず等を低 減させるために、徹底した工程内 検査や厳格な出荷前検査を実施 しています。特に表面きずについ ては渦流探傷機等を活用し、万 全の注意を払って検査しています。 また、鉄鋼メーカーとは新製品・ 新技術の開発計画、品質等につ いて定期的に検討会を開催し、共 同での改善・開発や共同品質管 理体制を確立しています。

(株) サンユウにおきましては、 ISO9001及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも 品質の充実を図ってまいります。

●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

「必要なとき必要な製品を必要な だけ供給する」といった販売基 本方針のもと、製品を供給する ために、全国をカバーする物流・ 情報ネットワークを構築してい ます。その核となるのが、大阪 府内2カ所に設けた立体倉庫で、 常時9,000トンもの多彩な標準 製品をストックしています。特 に東大阪市に設置した業界初の 自動立体倉庫では入出庫管理は すべてコンピューター化されて いるので、需要家が求める製品 がどこにあるかを瞬時に検索す ることができるようになってい ます。その結果、効率的な搬出 入作業が可能となり、近畿圏の 即納体制を確立しています。

また、北海道から九州まで、全 国各地を網羅した地域特約店と の関係を強化することにより、 ㈱サンユウの各営業店舗並びに 子会社の大阪ミガキ(㈱及び大同 磨鋼材工業㈱の各拠点と合わせ て全国的な物流・情報ネットワー クを構築しています。

●技術

優れた良質の素材と最新の 技術力、設備力で、高精度・ 高品質のみがき棒鋼及び冷 間圧造用鋼線を効率的に生 産しています。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜加工等により生産しています。冷間引抜加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜ダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は(引き抜き一矯正)工程または(表面切削(ピーリング)一矯正)工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜機は細物用に使用する連続抽伸機と大物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜機(ドローベンチ)の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜機、ピーリング及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

四半期連結財務諸表の要旨

第2四半期連結貸借対照表(2021年9月30日現在) (単位: 千円

第2四半期連結貸借対照表(20)21年9月30日現在) (道	単位:千円
科目	金	額
[資産の部]		
流動資産	13,027,817	
現金及び預金	3,625,521	
受取手形及び売掛金	5,314,204	
棚 卸 資 産	4,035,353	
そ の 他	52,737	
固定資産	5,197,812	
有 形 固 定 資 産	4,857,497	
建物及び構築物	1,297,444	
機械装置及び運搬具	1,545,909	
土 地	1,873,170	
そ の 他	140,973	
無形固定資産	97,371	
投資その他の資産	242,942	
資 産 合 計	18,225,629	
[負債の部]		
流動負債	8,061,865	
支払手形及び買掛金	5,330,885	
短 期 借 入 金	1,800,000	
1年内返済予定の長期借入金	184,962	
そ の 他	746,018	
固定負債	1,107,787	
長期借入金	817,274	
退職給付に係る負債	84,510	
そ の 他	206,003	
負 債 合 計	9,169,653	
[純資産の部]		
株 主 資 本	8,405,785	
資 本 金	1,513,687	
資本剰余金	1,303,508	
利益剰余金	5,609,982	
自己株式	△ 21,392	
その他の包括利益累計額	3,954	
その他有価証券評価差額金	3,954	
非支配株主持分	646,237	
純 資 産 合 計	9,055,976	
負債・純資産合計	18,225,629	

⁽注) 1. 連結子会社は、大阪ミガキ株式会社及び大同磨鋼材工業株式会社の2社であります。 2. 有形固定資産の減価償却累計額 13,022,077千円

第2四半期連結損益計算書

(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

/出仕・エロ

(目	202	1年4)	月1日	至	20)21年9月30日)	(単位:千円
	科			E		金	額
売		上		高		10,064,097	,
売	上	<u>.</u>)	原	価		8,486,597	,
	売	上	総	利	益	1,577,499)
販	売費及	びー	般管理	里費		1,102,735	;
	営	業	利		益	474,764	ļ
営	業	外	収	益		62,805	;
営	業	外	費	用		14,160)
	経	常	利		益	523,408	}
特	別] -	損	失		5,668	3
移	金等調	整前	四半期	純利	益	517,740)
挝	长人税、	住民	脱及び	事業	税	186,888	3
注	き 人	税等	調	整	額	△ 17,090)
Д	3 半	期	純	利	益	347,942)
非	支配株主	に帰属す	する四半	期純和	川益	48,361	
親	会社株主	に帰属す	する四半	期純和	益	299,580)

(注) 1株当たり四半期純利益

49円56銭

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

科	目	金	額
営業活動によるキャッシ	ユ・フロー		354,502
投資活動によるキャッシ	ユ・フロー		103,901
財務活動によるキャッシ	ユ・フロー	Δ	196,518
現金及び現金同等物	の増加額		54,083
現金及び現金同等物の	期首残高		3,571,438
現金及び現金同等物の四	半期末残高		3,625,521

会社の概要

2021年9月30日現在

重要な子会社の状況

2021年9月30日現在

社	名	株式会社サンユウ

所 在 地 本社/大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号 電話:072-858-1251 FAX:072-858-2672

設 立 1957年1月

資 本 金 1,513百万円

従 業 員 数 194名 (単体)、299名 (連結)

事業内容 みがき棒鋼の製造、加工及び販売

冷間圧造用鋼線の製造、加工及び販売

会 社 名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大阪ミガキ株式会社	40百万円	67.5%	みがき棒鋼の製造 及び販売
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売

主な事業所及びネットワーク 2021年9月30日現在

本 社	大阪府枚方市
(営業店舗)	7 (12 / 13 / 13 / 13 / 13 / 13 / 13 / 13 /
枚 方 八 尾	大阪府枚方市
八 尾 九 州	大 阪 府 八 尾 市 熊 本 県 菊 池 市
(工場)	WAY AND VE III
本 社	大阪府枚方市
八 尾 九 州	大 阪 府 八 尾 市 熊 本 県 菊 池 市
(子 会 社)	原本东新旭山
大阪ミガキ㈱	大阪、三重、滋賀の各営業店舗
大同磨鋼材工業㈱	広島、福山、岡山、
	九州、熊本の各営業店舗
本社・枚方	. AR
本社 权力	T N/E
_	
	•
\九	<u>, M</u>

位 貝			2	2021年9月30)日現在
代表取締役社	長	西	野	淳	$\vec{=}$
取締	役	加	藤	和	彦
取締	役	清	水	良	寛
常勤監査	役	生	方		徹
監查	役	藤	田	典	明
監查	役	仲	山	隆	之
上席執行役	員	水	野	由	実
上席執行役	員	松	井	亮	_
上席執行役	員	八	木	信	郎
執 行 役	員	大	槻	晃	弘
執 行 役	員	笹	山	英	俊
執 行 役	員	向	井		徹
執 行 役	員	大	木	光	_
執 行 役	員	安	積	光	治

- (注) 1. 取締役清水良寛氏は社外取締役であります。
 - 2. 監査役生方徹、藤田典明及び仲山隆之の3氏は社外監査役であります。

株式の状況

2021年9月30日現在

発行可能株式総数 発行済株式の総数 19,344,000株 6.091.000株

株 主 数

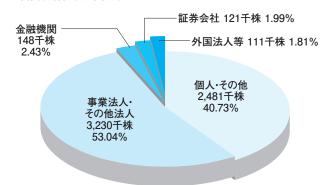
1.281名

大 株 主(上位10名)

株 主 名	持 株 数	持株比率
日本製鉄株式会社	2,035 千株	33.67 %
村 岡 克 彦	358	5.92
株式会社メタルワン	315	5.21
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	295	4.88
日鉄物産株式会社	250	4.14
永 田 麻 里	187	3.10
佐藤商事株式会社	180	2.98
サンユウ従業員持株会	175	2.90
柏 木 伸 夫	135	2.25
株式会社りそな銀行	110	1.82

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(46,496株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

公 告 方 法 電子公告により

電子公告により当社ホームページ(http://www.

sanyu-cfs.co.jp) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新

聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

各種お問合せ先 郵 便 物 送 付 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

※ 受 付 時 間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録 (無料) いただけます。

https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。

